



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX : 0467-47-1164
木曜を除く 10時～16時 Web URL : <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp/>
Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

アドレスが変わりました



実りの谷戸には人も集う～



昨年は10周年記念フォーラムに始まり、今までで最大に近い農作物の収穫に恵まれ、盛況な谷戸まつりほか、多くの団体の谷戸体験も受け入れました。班活動に参加する会員も増えてきています。

座談会報告シリーズのためにボリュームたっぷりだった会報も今号で終わり、次号からは彩り豊かにスリム化する予定です。今年もご期待ください。

もくじ

☆各班からのお知らせ→
2・3p ☆谷戸の自然だより→p 4 ☆10周年記念フォーラム座談会④→5・6p ☆谷戸往来→7・8p ☆谷戸の体験学習→8・9p ☆1～3月日程表(裏表紙)

春の七草・とんと焼き 1/14(土)

13:40～ 野外生活体験広場

(荒天翌日延期)

※引き換え券の頒布 13:40。

※火入れは2時頃。

※団子、七草粥は数に限りがあります。

各班からのお知らせ



田んぼ班

★1/8(日)、15(日) 粃殻くん炭・堆肥の切り返し
★22(土)、29(日) 粃殻くん炭・堆肥撒き

粃干し、粃すり、精米まで何とか間に合い、谷戸まつりに新米で作ったおにぎり、もちを提供できました。

田んぼでは来期の耕作に向けて、わらを切って田んぼに撒いたり、もみ殻を炭の状態にする粃殻くん炭の作業が始まっています。



11/6 粃干し



畑班

★1/8(日) 麦踏み・畑の整備・見回り ★15(日) 堆肥場の整備・荒起こし
★22(日) 落ち葉かき・堆肥作り ★29(日) 小麦の草取り・土寄せ



11/20 さといも掘り・洞入れ

最近の気象状況は、年々とても判断しにくく、畑の収穫にも何かと影響が出てきていますが、収穫を祝う「谷戸まつり」も済み、安堵しています。徐々に冬景色へと変わりゆく谷戸で、畑のこれからの作業は落ち葉かきと堆肥作りの繰り返しです。また、小麦の麦踏み、毎度お世話になる道具の手入れも大事な作業となります。



雑木林管理班

★1/8(日)、22(日) 雑木林の調査・測定 ★15(日) 竹の伐採
★29(日) 木障切り

手入れのために雑木林に入っていくと、人が立ち入らない場所は、下草、主にアズマネザザが生い茂っています。間伐で木々の間に光が入るようにすることと併せて、この下草を刈ってやると、それまで隠れていたいろいろな草花が、競うように春に芽を出します。

雑木林の下草刈りは、夏の土手の草刈りと同様、大変な作業ですが、楽しみな作業の一つです。



12/4 雑木林の除間伐



農芸班

★2/15(水) 味噌作り

本田脇の支柱に干された大根が、谷戸の秋の景色をより優しくしてくれていました。ほどよく水分が抜けた大根を樽の底から、1本ずつ丁寧に、うずまき状に並べながら、仕込みました。参加された方が、早速、たくわん漬けに挑戦される意気込みを話していました。



12/21 たくわん漬け



自然遊び班

里山探検隊(12/4)「むしろあみ」は、谷戸の雑木林から切り出した木片を利用し、稲わらを編んでいきます。駒(コマ)を操る人と、わらを重ねていく人が協力しあいながら作業しました。「おちばかき」は山の斜面によじ登って熊手で掃き、それを堆肥置き場に運びました。畑の土壌改良のために置き炭で作ったやきいもも食べました。<感想>★そうじがたのしかった(ひらまつ葉)★むしろあみがすごくかんたんにつくれたのでびっくりしました。おちばがすごくたくさんありました。(3年いそおよしふみ)★今日よしふみくんといっしょにふたりではおちばかきをして、とおるひとによくやっってるねといわれました。(2年おかのたくみ)★むしろあみができてすわったら、



とてもふかふかして気持ちよかったです。次はもっとふかふかのを作りたいです。(4年景山豊作)★こんな機会に谷戸に来て感動するなんてのは、すごくよくわかります。忘れてしまうのはもったいないですよ。住宅地の落葉かきとちがって、お掃除感?まるでなく、雪遊びにも似た興奮があったようです。子ども同士が自然に連携して楽しい共同作業になったようです。(抜粋)
(保護者スタッフ かげやまめぐみ)



父と子の里山体験(11/13) つるブランコ作りは、雑木林に入り、草木に絡んだつるを除去し、そのツルを木の枝に工夫してくり付け、いろいろなブランコを完成させました。子どもたちは、立ったり、座ったり、好き好きに乗り、山に笑い声が響き渡っていました。

☆父と子の里山体験 2/19(日) 「杉の伐採と皮むき体験」

対象：4歳以上の未就学児の親子 定員：10組 参加費：500円/1組(会員以外の方)



生態系保全班



ツミ

★1/22(日) アシ原の野鳥を探そう

★2/15(水) カエルの卵観察

毎年、カナムグラを根気強く取り続けている効果でしょうか。少しずつですが、減ってきたような気がします。しかし、ここで油断をすると増えてしまうので、除去作業は続きます。作業をしても、全身で谷戸の声を聴いています。今回はツミが現れ、私たちを楽しませてくれました。野鳥観察の季節になりました。この冬の野鳥が楽しみです。



植物育成班

★1/25(水) オギ原の刈り込み作業

★2/8(水) 樹木を皮で見分けよう

★2/22(水) 早春の植物調査

谷戸の奥の土手には、春になるといち早く野草が咲きます。そんな土手にもササが侵食してきました。日当たりが悪くなると、野草の花が咲きにくくなる可能性があるので手入れをしました。ササを刈ったあとには、葉で越冬しようとしている野草を観察することができます。これからも定期的に手入れをしていきたいと思います。



12/21 オギ原の刈り込み作業

谷戸の自然だより

～ 生態系から見た、里山の手入れ 谷戸の田んぼ その5 ～

●冬の田んぼと野鳥

冬の田んぼで目立つのは野鳥でしょう。田んぼと広場の間にアシ原を残してあるので、広場から田んぼが直接見えません。そのため、鳥が安心して田んぼを利用できるようになっています。白いサギ（コサギ）が田んぼでザリガニなどを採っているのをよく見かけます。冬の間も水がある田んぼは、トンボの幼虫などが多く、野鳥も集まることから「冬水田んぼ」という名前で重視されるようになりました。県内でも海老名市などで生きものの保全を目的とした「冬水田んぼ」が作られるようになり成果を上げているようです。

また畔に生えている草の実を、ホオジロやアオジなどの小鳥が食べに来たり、ハシボソガラス（街中よりも田畑に多いカラス）やハクセキレイが畔でクモ類などの小動物を探しています。夕方になると田んぼにカモが飛んできます。稲の切り株に再生した二番穂を食べにくるのでしょうか。北陸などでもハクチョウやカモが夜の田んぼで餌を採っているようで、稲の二番穂が野鳥の越冬に役立っているそうです。

●田んぼは谷戸の中心

田んぼで生まれたオタマジャクシが広場の水路に流されて、子どもたちの遊び相手になったり、シオカラトンボやイナゴも田んぼで生まれています。田んぼで暮らすクサガメが畑で産卵したり、水路で生活しているホトケドジョウの稚魚が田んぼで大量に育ったり、田んぼの生きものが谷戸の中を往來しているのがうかがえます。意外なのは、田んぼで見かけるギンヤンマや真っ赤なショウジョウトンボは、住宅地の池で育って田んぼにやってくるようなのです。田んぼを中心に、公園のみならず住宅地まで巻き込んで、地域の生態系のネットワークができています。住宅地に囲まれた「谷戸の田んぼ」ならではの面白さではないでしょうか。

●田んぼの生きものの変化

振り返れば、約30年前に地主さんの田んぼをお手伝いさせていただいたことが、当会の基礎になっています。時、場所、人、すべてに恵まれたと思います。その頃、里山の自然が評価されるようになり、自然保護の考え方が大きく変化しました。環境や教育の視点から田んぼに市民が来るようになりました。昔ながらの農法を継承した結果、ほとんどの生きものは健在ですが、いくつかは消えていきました。原因は不明です。20年ほど前に「ししいし」周辺の田んぼが埋め立てられたり、休耕地となったとき、タイコウチ（水生昆虫の一種）などの生きものが姿を消したのを覚えています。



田んぼのネットワークの一角を失ったことが影響しているのでしょうか。その他、田んぼ周辺の湧水量が減ったことも一因かもしれません。

●周辺の手入れが田んぼを守る

田んぼ、あるいはそれに似た環境を、周辺に増やすことができれば理想です。湿地を放任せずに手入れして、水がたまるようにしたり、畑や斜面林、水路の手入れも大切です。幸い、当会にはさまざまな活動（7つの班）があり連携しています。各班の活動が、間接的に田んぼの生きものを支えることにつながっているのです。「一石二鳥」のことわざ以上に、谷戸の活動は大きな可能性を秘めています。田んぼを中心とした命の流れが途絶えないよう、2017年も楽しく進んでいきましょう。

谷戸の昔、今、そして未来へ～第3部 協働を深める その4

コーディネーター 志村直愛氏
(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授)

鎌倉市都市整備部 小磯一彦部長
鎌倉市公園協会 土屋志郎常務理事
山崎・谷戸の会 相川明子理事長
同 黒川美加事務局長



(志村) この辺、無理だよって話で終わっちゃうと思うんですけど、土屋さんなんかは柔らかい頭で、国の情勢まで見ていただいていますから、そういう意味では本来そうあるべきで、まー、稼いで、なかなか大変なことではあると思いますが、難しい部分はあると思いますが、可能性を広げる法律とか今の規制でできていることから解き放っているいろいろな可能性を広げていくことを許すっていう土壌は確かに大事なような気がします。それで回せて初めて魅力や努力、熱意がうまく回っていくような可能性ができるといいなということなんですけど…。最後は行政にかかってくるわけですが、すぐにといいわけにはいかないとはいいますが、行政としてお考えになる、これから先の持続性、継続性、永久性、これからの可能性を見たいと思っています。

「公共施設は自分たちで守る」という市民の意識が必要では？

(小磯) 初めにお話をしたように、公園もインフラの一つと考えています。現在、インフラのマネジメント計画を作っています。今年度中にできあがります。我々がインフラを全部網羅的に見て、これから40年間どのくらいお金がかかるか、そうすると今まで毎年毎年、使ってきたお金の少なくとも倍以上必要じゃないかという答えが出てきています。インフラを管理していくためにはお金が必要です。市民との協働、これはお金を安く済ませようというのではなくて、公共施設、インフラも含めて市民のものでありますので、自分のものは自分たちで守るという考え方だと思います。

さきほど、事前に打ち合せをしたときに話したんですが、我が家で、古い話をしますと、農道は公道、鎌倉市道ですが、農家の人たちはかつては毎年2回ぐらいかな、道普請(みちぶしん)といって自分たちで道を直していました。そういう気持ちっていうのを市民のみなさんに持っていただいて、自分たちの身近な公共施設は自分たちで守る、そういう気持ちが必要かなと思っています。なかなか難しいかもしれませんが、それがインフラのマネジメント計画のひとつの解決策かなと考えています。

それからお金を稼ぐというのもその中に入れてあります。特に公園なんかはまさにいろいろと検討しているところなんですけど、なかなか難しいところがあります。お金を稼いで、それをメンテナンスに回していこうという発想を持っています。特にマネジメント計画の中ではお金を稼ぐということも大きな柱として今やっているところです。市民のみなさんと一緒にやるのが、お金を稼ぐことなどで、持続的なインフラ管理を公園も含めてしていきたいと思っています。これにはかなり時間はかかると思いますが、地道な努力をしてやっていきたいと思っています。

(志村) お堅い行政も市民対応で、開いていってインフラ、インフラストラクション、都市基盤、都市の基盤となる公園というものも、そこでお金を稼いだり、一緒に管理していく。自分たちのものは自分たちで管理していく。確かにそうです。そういう側面もあって、そこを市民に開放していくということができれば、みなさんも大手を振って活動ができるといいのかなと思います。

一方で僕は極楽寺に住んでいて思うのは、どうも鎌倉市の中でも『やまさき』を『やまざき』と呼んじゃう旧鎌倉の人も多いし、なんか、こっちの人たちはこっちの人たちで意識が違うような気がして。うちの親なんか「あ〜、なんか田んぼやってるらしいわね」と言っている。本当は全市民がこういった魅力的な所を知っていなきやいけないし、市民財産としてこれを評価していないといけないし、自分たちもたまには田んぼやってみようみたいな気持ちはあるんだけど、なんとなく、鎌倉って広いので、なんとなく、まだまだ知られていい話を知らない人も多いし、「そんなことならなんか手伝いますよ」とか、「素敵などころがあるんなら、私お金投入しますよ」みたいな人もいるかもしれないじゃないですか。もっと知られてもいい気がするし、こんな頑張ってるあんな素敵な映像もできているし、まだまだもっと広められて、可能性が鎌倉の中にはおありになるんじゃないかなと思うんです。その辺も含めて、最後に、これから頑張ってください黒川さんに、次のステージに向けて、これからのメッセージを全市民に向けて放っていただいて閉めていただくのはいかがでしょう。

暮らしの彩の中に入って、「誰でもできる保全活動」にしていきたい

(黒川) 私は身近な事務局長を目指して、こんな私でもやれちゃう事務局長、だから誰でも事務局長ができる、誰でも谷戸、保全活動に参加できるような会にしていきたいと思っています。確かに課題はたくさんあり、難しいことも考えなくてはいけないこともあると思いますが、やっぱり谷戸ということにつながって、市と行政とでやっていくことで、こうやって私たちの意見って、市に行政に吸い上げられるんだと。まちづくりって私たち参加できるものなんだねって。それって、すごくやりがいがある。さきほど、運営費などのお金の話になりましたが、一方では、実はそういう楽しみものすごく大きいのですよね。これから暮らしの彩の中に入るといふか、みなさんの中に入っていくといいかなと思っています。やっぱり、活動を広げる意味で、もっと広報して広げて、市民のみなさんと他の市民団体と連携し、市内で盛り立てていきたいと思っています。

(志村) 市民協働の専門の側面から言うと、市、行政と市民、それから市民グループという形がとてもいい連携で動いているまちだと思います。ただ、周りの人はもっと応援していいし、誰が見ても魅力的な活動をどんどん広げていただいて、応援団をたくさん作って、本当に我が国の見本になるような活動をこれからも先陣切ってやってください。次は、20周年記念のコーディネートをやります。頑張って、みんなで支えていきましょう。今日は本当にありがとうございました。(終わり)





谷戸往来

谷戸往来 谷戸往来

インベンティブ・ヘルス・ジャパン社員が保全活動

10/29 (日)、インベンティブ・ヘルス・ジャパンのみなさんが、会社の親睦会として谷戸保全活動にいられました。稲の脱穀作業のあと、蒸かしたかぼちゃ、谷戸産の麦茶、手作り梅ジュースで一息。いい汗をかいておいしい谷戸の味覚を味わえたと喜んでいただきました。早速会員になった方もいらっしゃいました。



さといもの葉っぱを傘にして遊びました。

サトイモとどろんこ

11/9 (水)、小雨の中、かまくら子育て支援グループ懇談会かまくらママ'Sカレッジ事業に親子27組が参加。「おおい！」「こんなふうにできているんだ！」と収穫を喜んだり、驚いたり。掘りたてを蒸かして、味付けせずに、さといもそのものの風味を味わってもらいました。悪天候でも子どもは元気に走り回っていました。

NGO「PHD」来訪

11/13 (日)、毎年恒例のPHD主催の研修で、ネパール、ミャンマー、インドネシアから20代の女性3人の研修生たち一行が谷戸を訪れました。今年の春から有機農業や保健衛生を学んでいる彼女たちは、堪能な日本語で当会の会員たちと交流し、谷戸の農作物の昼食を「おいしい」と感激。藁切り作業で堆肥作りも体験しました。



鎌倉市職員・市民協働研修

11/16 (水)、昨年に続き、鎌倉市地域つながり推進課主催で、市民と行政の協働を学ぶ職員研修の受け入れをしました。堆肥の切り返し、水路周辺整備など、10名の職員のみなさん※と和気あいあいと作業に取り組みました。それぞれの業務に活かしていただきたいと思います。※市民課、秘書広報課、浄化センター、道路課、市民税課、産業振興課、保育課、生活福祉課【感想】★研修を通じて、手を加えすぎても、加えなさ過ぎてもダメという、自然の維持管理の難しさを感じました。★機械を使わず、人力だけで自然を保つことが、作業を通じてとても大変であると感じました。★公園がどのような思いを込めてできたものなのか知ることができました。★今後時間があれば私も参加したいと感じました。



谷戸の自然環境を説明中

秋の谷戸まつり開催

11/28 (日)、雨模様でしたが、まずまずの天気となり、多くの来園者で賑わいました。正月飾り作りや竹細工に多くの人が集まり、新しく始めた薪の頒布も好評でした。

【感想】いつも家族で楽しませていただいています。今回は町内会として、おむすび作りのお手伝い役で、初めての方と楽しい一日を過ごさせて頂きました。みなさんの活動についても知ることができました。(大平山丸山町内会役員 川島明子)

東京シニア自然大学講座

12/2(金)、日本環境教育フォーラム主催「東京シニア自然大学」の受講生が来訪しました。1年間自然環境を学んだ受講生のうち、さらに保全活動を体験して理解を深めようと希



望されたみなさんです。解説に熱心に耳を傾け、昼食をはさんでの谷戸保全作業を力強くこなしていました。

寄付いただきました

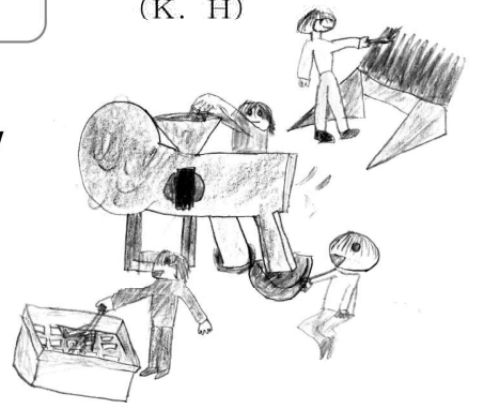
有効に使わせていただきます。(敬省略) 新谷直人/磯尾清・佳代子/岡村哲雄・静子/熊田正義/黒谷秀夫/鈴木美治/早乙女千博/角田照司・真里/野田真紀子/鎌倉風致保存会/安田紀代子

かまくら認知症ネットワーク主催「かまくら散歩」

12/4(日)、認知症の方やそのご家族ら17名が当会田んぼ班と一緒に落ち葉かきをしました。熊手で掃き集めた落ち葉は見る見るうちにいくつもの大山ができ、みんなでワッショイワッショイと何度も堆肥置き場まで運びました。谷戸の景観や作業は認知症の方も包み込んでくれるようでした。おやつは蒸かしたての畑で獲れたさつま芋。「甘いお芋ね」と好評でした。



(K. H)

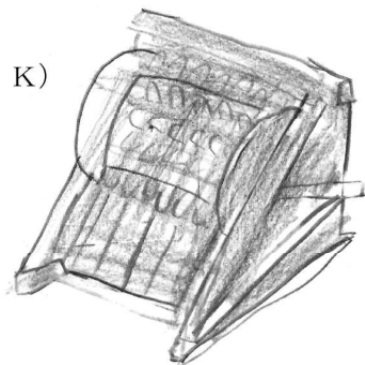


～ 深沢小学校5年 ～ 「谷戸田の米作り」

10/30 脱穀

機かいのしくみがすごいと思いました。まず米を入れたら、横で回して風がふいて、米は重いからそのまま、ごみは軽くてふっとんでいったのがすごかったです。(S. W)

(M. K)



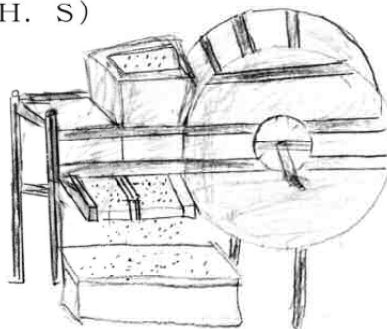
もみが取れてくときの音が、気持ちよかったです。(A. I)

今は全て機械任せなので自分たちで行う脱穀はしんせんでした。(S. K)

足ぶみだっこく機で、穂から米を取りました。意外にもふむのにリズムがあって、リズムを外すと止まってしまう。(M. M)

私は米を取り終わった稲に、ほんの少しついている米を手作業で取っていく仕事を、祥子さんと一緒にやっていました。(I. K)

(H. S)



こんなに時間をかけて行うなんて、昔の人の苦労が伝わりました。今はすぐできてしまうけれど、昔の人はずっとこのやり方でやっていたので、すごいと思いました。(R. K)

30キロぐらいの量をあの人数でやったのに、1時間ぐらいかかったりしていたので、昔の農家さんはどれぐらい時間をかけていたのかなと思いました。(H. N)

1月の予定

8(日) 籾殻くん炭・堆肥切り返し
 麦踏み・畑の整備・見回り *
 雑木林の調査・測定 (塾)

14(土) 春の七草とどんど焼き(荒天翌日延期)

15(日) 籾殻くん炭・堆肥切り返し*
 堆肥場の整備・荒起こし
 竹の伐採 (塾)
青空自主保育にここ会保全活動 (外)

22(日) 籾殻くん炭・堆肥撒き (塾)
 落ち葉かき・堆肥作り
 雑木林調査・測定 *
 アシ原の野鳥を探そう *
 里山探検隊「紙漉き・1」
青空自主保育やんちゃお保全活動 (外)

25(水) オギ原の刈り込み作業
 (塾・講座) **昔の谷戸**

29(日) 籾殻くん炭・堆肥撒き *
 小麦の草取り・土寄せ *
 木障切り*
青空自主保育なかよし会保全活動 (外)

(塾) ...谷戸塾 (外) ...外部受入れ

(参) ...会員以外の方 参加費500円
 4歳以上～小学生までの親子1組

谷戸の体験学習予定

富士塚小5年「谷戸田の米作り」 1/26
 ひだまり「昔ながらの畑」 1/18、2/15

2月の予定

5(日) 籾殻くん炭・苗床耕し *
 畑の整備・ねぎの苗床作り
 園内整備 (塾)
 里山探検隊「紙漉き・2」

(塾・講座) 雑木林の管理

8(水) 樹木を皮で見分けよう *

12(日) 籾殻くん炭・苗床耕し *
 さつまいもの苗床作り (塾)
 雑木林の除間伐 *

15(水) 味噌作り *

カエルの卵観察 *

19(日) 畔直し
 じゃがいもの植付け *
 雑木林の除間伐

父と子の里山体験「杉の伐採と皮むき体験」(参)

22(水) 早春の植物調査

26(日) 畑の整備
 雑木林の除間伐

里山探検隊
 定員に達しましたので申込みを締め切りました。

各班の活動時間
 田んぼ班：9:30～15:00 (5年生以上)
 畑班：9:30～12:00 (午後作業の場合あり)
 雑木林管理班：9:30～15:00 (中学生以上)
 農芸班：10:00～15:00
 自然遊び班：10:00～14:00
 生態系保全班：9:30～15:30
 植物育成班：9:30～15:30

3月の予定 (次号で再確認してください)

1(水) 野草苗の植付け
 (塾・講座) **市民活動と里山保全**
 5(日) 道具の手入れ (塾)
 道具の手入れ (塾)
 山作業道具の手入れ (塾)
 父と子の里山体験「竹でお椀と箸づくり」(参)
 8(水) カエル生息地の整備
 12(日) 畔・水口直し
 さつまいも洞出し・種芋伏込み *
 雑木林の除間伐 *
 15(水) 樹木を枝で見分けよう *
 19(日) 畔・水口直し
 ねぎ種蒔き・草取り・耕し
 雑木林の除間伐
 22(水) オタマジャクシの観察 *
 26(日) 畑の整備
 間伐材の活用 *

▼作業できる服装(軍手や長靴等着用)で、農家風休憩舎に集合して下さい。

▼小雨決行ですが、悪天候の場合は各自でご判断ください。また、活動内容は天候その他の理由で変更されることがあります。

▼非会員の方は、太字*の活動に電話予約の上、参加できます。

▼事務局では、木曜を除く平日にも園内パトロールや谷戸保全活動を行っています。参加ご希望の方は、お問い合わせください。

☆☆☆☆☆☆☆☆会員登録した班以外の活動にも参加できます ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 会員随時募集 ☆☆☆☆☆☆☆

年会費…正会員2000円・準会員1000円(正会員の大人家族) 会費年度は4/1から 郵便振替口座番号…00270-6-115647 特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会